

あかつか

新潟市立赤塚小学校 学校だより
令和7年度 第3号
発行日 2025年7月1日
TEL 025-239-2019 FAX 025-239-3803

4～6月を振り返り、見直したことを実行しよう！

令和7年度がスタートし3か月が経ちました。今日から7月、夏休み前の大切な一か月です。

4月から、入学式や運動会、6年生佐渡修学旅行など大きな学校行事が無事に行われてきました。また、一年生を迎える会や清掃活動、ペア学年交流「すいかっば・ちびかっばデー」など、異年齢による活動も進められ、子どもたちのかかわりが増え、少しずつ深まっていく様子が見られます。

また、2年ぶりのプールでの水泳授業も、保護者・地域ボランティアさんのご協力により監視体制を確保しながら、安全・安心に取り組んでいます。大変感謝しています。

さて、今日から7月です。子どもたちには、前期前半の学校生活を振り返り、「分かる・できるようになったこと、よくなってきたこと【成果】」「よく分からない・まだできないこと、努力・継続が必要なこと【課題】」を考え、自分の今の状況を見直してほしいと全校朝会で話しました。7月14日（月）から18日（金）の5日間は、個人懇談会があります。子どもの頑張りや成長、努力が必要な課題など、保護者の皆さんと懇談し共有したいと思います。



子どもたちが自分の生活を振り返り、見直した取組を実行していけるように、7月を過ごします。また、7月24日（木）から39日間の夏休みが始まります（7/24～8/31）。長い休みを自分でコントロールしながら過ごすことができるように、その計画・準備のために7月は支援します。

夏休みの計画・準備を始めませんか！

自分で考え、判断しながら過ごす夏休み！ やってみたいことに挑戦できる夏休み！

子どもの生活には、判断に迫られる場面がたくさんあります。お家の人や友達、先生に相談できるときもありますが、一人で考え判断しなくてはならない場面はたくさんあります。いくつかの考えから選択できるときもあれば、複数の考えを組み合わせるときもあります。

大人になっても判断に迷う場面はたくさんあります。しかし大人は、今までの多くの経験をもとに判断する規準（あるいは基準）を持っているため、判断する時間が段々と短くなっていきます。しかし子どもたちは、一つ一つ正面から向き合い、時間をかけて考えなければならないのです。考えている時間は成長の過程であり、辿り着いた考えは、ゆくゆくは自分なりの確固たる判断規準（あるいは基準）となり財産となっていきます。

子どもには、「時間」が必要です。「子どもが考えて判断し、決めたことに挑戦していく時間」をしっかりと確保してあげたいものです。子どもの気付きと一緒に待つ・子どもが思いを語りながら考えを確かにしていける相談相手となる・「やってみよう」と励まし見守るなど、可能な範囲で「子どもの時間」に寄り添ってほしいと願っています。



私は、子育ての期間はほんの一時だと思います。成人となる18歳には、多くの子どもが親元を離れ（離れなくても）、一人で自分の生活を始めていきます。あと数年で、子どもは自分の足で歩き始めます。どんな力を身に付けていけば、自分の人生を幸せなものにしていけるのでしょうか。

今年の夏も、「子どもが考えて判断し、決めたことに挑戦していく時間」を大切にしていあげてください。子どもにとって、保護者の皆さんにとって、充実した夏休みとなることを願っています。

（清水 良紀）

子どもが気づき、考え判断して、決めたことに挑戦できますように！

